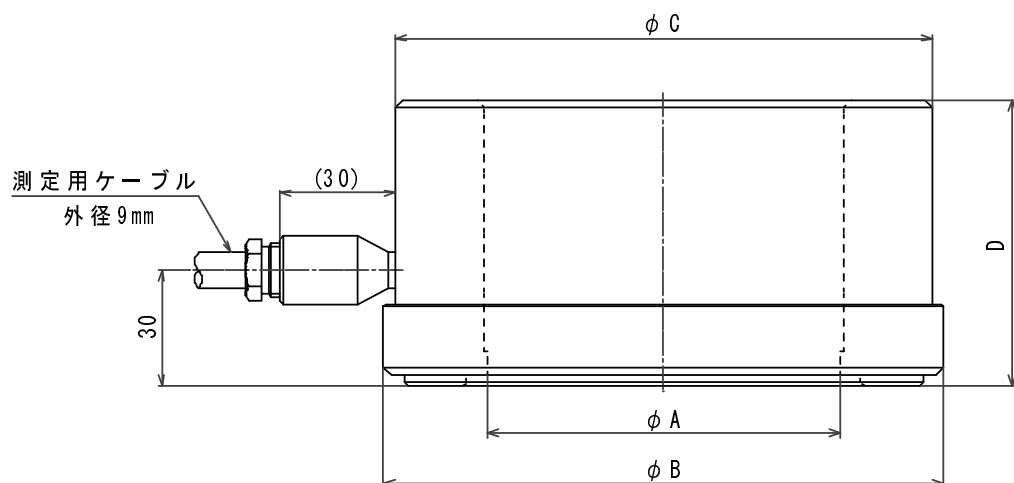
1.　仕　様

型式	GL-500kNCB-□D	GL-500kNCB-□D
測定範囲	500kN	1.0 MN
定格出力(RO)	0.9 mV/V 以上	
定格出力ひずみ	1800×10^{-6}st 以上	
直線性	±2.0 %RO 以内	
ヒステリシス	±0.5 %RO 以内	
許容過負荷	120%	
許容温度範囲	－10～＋80 ℃	
許容耐水圧	0.2 MPa	
最大印加電圧	10 V	
入･出力抵抗	350 Ω　±2%	
絶縁抵抗	DC25V にて 500MΩ 以上	
質量		
ケーブル	S4-5(0.5mm^2 4 心、シングルシース)	
ケーブル標準長	3 m	

・　※極性は、+;圧縮です。
・　※型式の□内にはセンターホール径が入ります。

2. 構　造

概略構造と寸法を下図に示します。

型式	GL-500kNCB-118D	GL-1.0MNCB-146D
φA	118	146
φB	144	178
φC	140	—
D	63	84
質量	2kg	3kg

単位:mm

取付方法

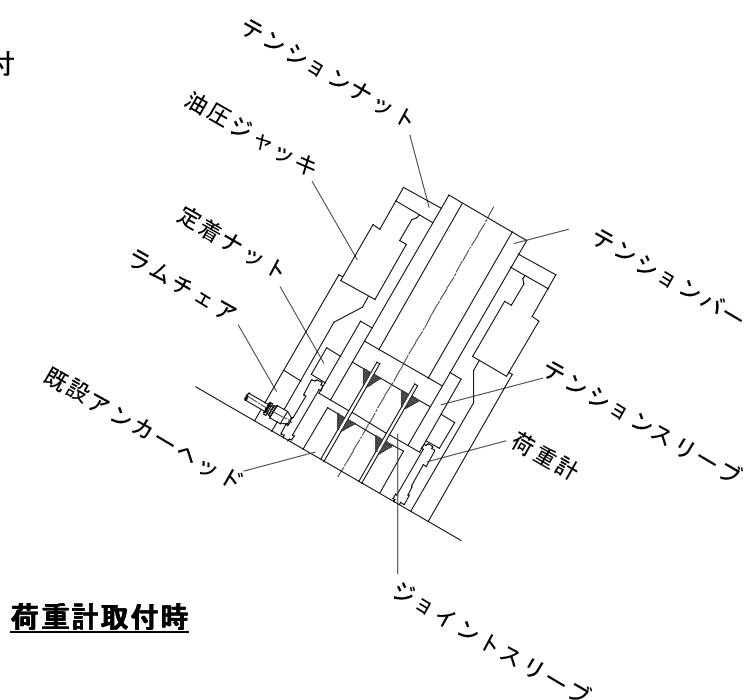
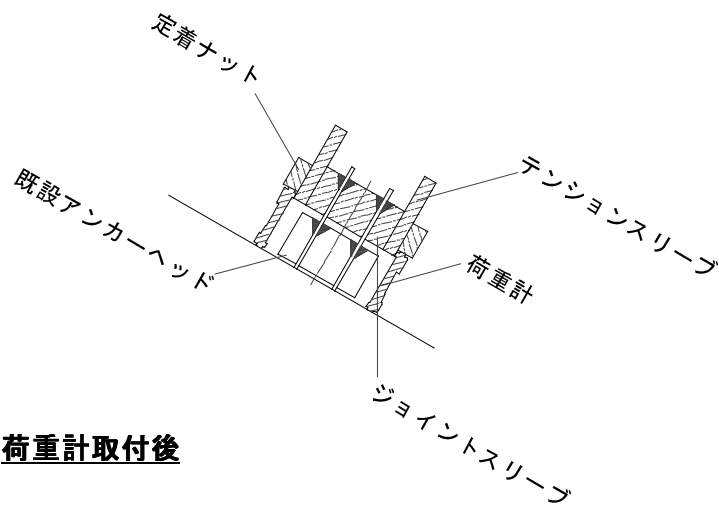
3.1 取付前の注意事項

(1) 検査成績表と製品番号を照合して下さい。
(2) 指示計器などで作動の確認をして下さい。
(3) ケーブル接続を行う場合は、事前に出力値と絶縁抵抗値の測定を行って下さい。
(4) 取付けの際、ケーブルおよびその引き出し口に十分注意して下さい。
(5) センターホール型荷重計の受圧部に接する支圧板は、平滑な面のものを使用して下さい。

3.2 取 付

(1) 下図設置例を参照し荷重計を所定の位置にセットして下さい。
(2) 無負荷の状態で測定した値を「初期値」として記録して下さい。
(3) 載荷を開始する前に、設定した荷重の指示値を算出しておき、指示計値とそれとを照合、確認しながらゆっくりと油圧ジャッキに圧力をかけて下さい。

設置例

既設アンカーへ取付

荷重計取付時

荷重計取付後

4. 測定方法

(1) ケーブルの接続方法は、入力⊕が赤色、入力⊖が黒色、出力⊕が白色、出力⊖が緑色としていますので、当社以外の指示計器を使用する場合は注意して下さい。

(2) 測定時刻とその時の工事内容を正確に記録しておくとデータの検討に有効です。

※ご注意：当社指示計を使用した場合、圧縮で出力値はプラス方向を示します。

5. 計算方法

(1) 計算式

$$N=(M-I)\times f$$

N：荷　重　〔MN〕
M：測定値　〔$\times 10^{-6}$st〕
I：初期値　〔$\times 10^{-6}$st〕
f：校正係数〔MN／$\times 10^{-6}$st〕

(2) 計算例

M ：800　$\times 10^{-6}$st
I ：100　$\times 10^{-6}$st
f ：0．000556　MN／$\times 10^{-6}$st

N＝(800-100)×0．000556=0．3892
したがって荷重は389．2kNとなります。

ご不明な点は弊社製造部までご連絡下さい。
TEL　046－233－7715　FAX　046－233－7878